

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 桐丘学園

(2) 大学名

桐生大学

(3) 大学の位置

〒379-2392

群馬県みどり市笠懸町阿左美606番7

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(セキザキ エツコ) 関崎 悦子 (平成9年5月)		
学長	(タダクマ タクシ) 多田隈 卓史 (平成20年4月)		
学部長	(イノウエ シュウジ) 井上 修二 (平成21年4月)		平成20年4月から平成21年3月までは、学長多田隈卓史が兼任
学科長等	看護学科長 (イマゼキ セツコ) 今関 節子 (平成20年4月)		
	栄養学科長 (カサハラ ヨシコ) 笠原 賀子 (平成20年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成20年度開設の4年制の学科の場合（平成23年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療保健学部 看護学科 学士（看護学）	4 年	80 人	3 10 年次 人	340 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80 (-) [-]	-	80 (-) [-]	-	80 (10) [-]	-	80 (10) [-]	-	1.03 倍	
志願者数	125 (-) [-]	-	225 (-) [-]	-	335 (6) [-]	-	263 (7) [-]	-		
受験者数	120 (-) [-]	-	212 (-) [-]	-	322 (6) [-]	-	250 (7) [-]	-		
合格者数	113 (-) [-]	-	182 (-) [-]	-	140 (6) [-]	-	124 (7) [-]	-		
B 入学者数	75 (-) [-]	-	76 (-) [-]	-	97 (6) [-]	-	85 (6) [-]	-		
入学定員超過率 B/A	0.93		0.95		1.21		1.06			

- (注) ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。
 ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 75	[-] -	[-] 76	[-] -	[-] 97	[-] -	[-] 85	[-] -	
2年次	/		[-] 69	[-] -	[-] 73	[-] -	[-] 91	[-] -	
3年次			/		/		[-] 73	[-] -	[-] 78
4年次	/						/		[-] 73
計			[-] 75	[-] 145	[-] 243	[-] 327			

(注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成20年度開設の4年制の学科の場合（平成23年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療保健学部 栄養学科 学士（栄養学）	4 年	60 人	3 10 年次 人	260 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (-) [-]	-	60 (-) [-]	-	60 (10) [-]	-	60 (10) [-]	-	0.88 倍	
志願者数	53 (-) [-]	-	104 (-) [-]	-	115 (3) [-]	-	127 (-) [-]	-		
受験者数	53 (-) [-]	-	101 (-) [-]	-	113 (3) [-]	-	126 (-) [-]	-		
合格者数	52 (-) [-]	-	95 (-) [-]	-	89 (3) [-]	-	97 (-) [-]	-		
B 入学者数	33 (-) [-]	-	56 (-) [-]	-	61 (3) [-]	-	62 (-) [-]	-		
入学定員超過率 B/A	0.55		0.93		1.01		1.03			

- (注) ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様に**してください。
 ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 33	[-] -	[-] 56	[-] -	[-] 61	[-] -	[-] 62	[-] -	
2年次	/		[-] 31	[-] -	[-] 52	[-] -	[-] 55	[-] -	
3年次			/		/		[-] 31	[-] -	[-] 54
4年次	/						/		[-] 34
計			[-] 33	[-] -	[-] 87	[-] -			[-] 144

(注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無

- (注) ・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	地域・在宅看護学概論	2	2	専門	必修	平成21年度入学生より、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変更に伴うカリキュラム変更のため、当該科目を廃止し、「地域看護学概論」2単位と「在宅看護学概論」1単位に変更する。
2	保健チーム看護論	2	1	専門	必修	平成21年度入学生より、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変更に伴うカリキュラム変更のため、当該科目を、「チーム看護論」1単位に変更する。
3	卒業研究	3	3~4	専門	必修	平成21年度入学生より、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変更に伴うカリキュラム変更のため、当該科目を「看護セミナー（看護の統合と発展）」3単位に変更する。
4	総合演習	2	2	教職	自由	平成22年度入学生より、教育職員免許法施行規則第6条表の改正に伴うカリキュラム変更のため、当該科目を「教職実践演習」2単位に変更する。

- (注) ・設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「地域・在宅看護学概論」「保健チーム看護論」「卒業研究」の廃止については、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の変更に伴うカリキュラム変更のための措置であり、指定規則に沿って適切な授業科目の変更がなされており、法令上必要な措置である。なお、保健師学校看護師学校としての変更承認を受けており、また学則変更届も提出済みである。
 「総合演習」の廃止については、教育職員免許法施行規則第6条表の改正に伴うカリキュラム変更の措置であり、教育職員免許法等の規定により、教員の免許状授与の所要資格を得させるための課程認定を受けている。また学則変更届も提出済みである。

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.03$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	総合演習	2	2	教職	自由	平成22年度入学生より、教育職員免許法施行規則第6条表の改正に伴うカリキュラム変更のため、当該科目を「教職実践演習」2単位に変更する。

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「総合演習」の廃止については、教育職員免許法施行規則第6条表の改正に伴うカリキュラム変更の措置であり、教育職員免許法等の規定により、教員の免許状授与の所要資格を得させるための課程認定を受けている。また学則変更届も提出済みである。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動用地および校舎敷地の一部は桐生大学短期大学部と共用。共用する他の学校等の専用の校舎敷地は桐生大学短期大学部アート・デザイン学科の専用。 ・登記の際、外用階段の面積が除かれたため、当初計画より、専用の校舎敷地面積が減少した(20) ・共用部分(21) 増加：駐車場用地購入 2,616.00㎡ 減少：高校寮建設567.00㎡、再測量による誤差15.92㎡、みどり市へ道路用地寄附16.00㎡ ・共用する他の学校等の専用(21) 増加：高校寮建設 567.00㎡ ・専用部分(22) 増加：動物実験室建設 44.24㎡ ・共用部分(22) 減少：動物実験室分 44.24㎡、みどり市へ防火水槽本体及び用地を寄附 37.00㎡		
	校舎敷地	8,690.50 8,646.26 8,648.55㎡	8,368.11㎡	1,665.63㎡	18,724.24 18,680.00 18,682.29㎡			
	運動場用地	0㎡	9,628.46 9,672.70 9,670.41㎡	0㎡	9,628.46 9,672.70 9,670.41㎡			
	小 計	8,690.50 8,646.26 8,648.55㎡	17,996.57 18,040.81 18,038.52㎡	1,665.63㎡	28,352.70㎡			
	そ の 他	0㎡	6,720.30 6,757.30 3,750.22㎡	567.00 0㎡	7,287.30 7,324.30 3,750.22㎡			
	合 計	8,690.50 8,646.26 8,648.55㎡	24,716.87 24,798.11 21,791.03 21,788.74㎡	2,232.63 1,665.63㎡	35,640.00 35,677.00 32,102.92㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎の一部は桐生大学短期大学部と共用 ・登記の際、外用階段の面積が除かれたため、当初計画より、専用の校舎面積が減少した(20) ・動物実験室44.24㎡(22)			
	8,690.50 8,646.26 8,648.55㎡	6,296.18㎡	1,665.63㎡	16,652.31 16,608.07 16,610.36㎡				
		8,646.26 (8,648.55㎡)	(6,296.18㎡)	(1,665.63㎡)	16,608.07 (16,610.36㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	20 室	6 室	29 室	4 室 (補助職員 1人)	2 室 (補助職員 1人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		申請学部全体		
	医療保健学部			45 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	「大学全体での共用分」図書27,000 ・図書については、当初見積より安価で予定冊数をそろえることができたので、開設年次1年生への教育的配慮から、図書を充実させた(20) ・学術雑誌については、当初予定から休刊等により減少した(20) ・電子ジャーナルについては、当初提出した外国書の数値の誤りを訂正した(20) ・視聴覚資料は、当初見積より安価で入手できたため点数を増加させた(20) ・機械・器具については、当初見積より安価で入手できたため点数を増加させた(20) ・標本については、開設年次1年生への教育的配慮から充実させた(20)
	医療保健学部	16,530 [3,000]	110 [35]	5 5 [0]	1,000	6,666 6,239	363 317	
		17,125 [3,339] (13,598 [1,934])	145 [36] (107 [33])	5	1,277 (844)	(6,666)	(363)	
	計	(11,730 [1,900])	(110 [35])	5 (5 [0])	(800)	(6,239)	(317)	
	16,530 [3,000]	110 [35]	5 [0]	1,000	6,666 6,239	363 317		
	17,125 [3,339] (13,598 [1,934])	145 [36] (107 [33])	5	1,277 (844)	(6,666)	(363)		

		(11,730 [1,900])	(110 [35])	(5 [0])	(800)	(6,239)	(317)		
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数				
	1,344 m ²		190		50,000				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,275 m ²		該当なし						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	・教育研究環境を充実させるため、教員一人あたりの研究費を増額した(20) ・設備購入費については、見積より安価で購入できたため、減少した(20)
		教員1人当り研究費等	516 400千	516 400千	図書購入費	4,000千円	3,000千円	1,000千円	
		共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	301,072 350,000千	20,800千円	14,800千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		看護学科1,750千円	看護学科1,500千円	看護学科1,500千円	看護学科1,500千円	-	-		
		栄養学科1,700千円	栄養学科1,450千円	栄養学科1,450千円	栄養学科1,450千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常経費補助金, 資産運用収入, 雑収入 等						

- (注) ・ 設置認可時の認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・ 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	桐生大学短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
生活科学科	2	40	—	80	短期大学士 (生活科学)	1.01	平成元年度	群馬県みどり市 笠懸町阿左美 606番7	
アート・デザイン学科	2	60	—	120	短期大学士 (アート・デザイン)	0.88	昭和39年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p>認 可 時 (19年12月)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p> <p>・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。(栄養学科)</p>	<p>・平成20年1月に、平成20年度就任予定教員の研修会を実施し、設置の趣旨・目的等を共有させ、平成20年4月以降の授業計画の立案に活かせるような体制とした。また、平成20年4月当初にも、就任した教職員を対象とした研修会を実施し、実際のカリキュラムにおいて設置の趣旨・目的等がどのように生かされるべきか等を説明し、その周知徹底をはかった。さらに、当初計画より、年間10万円以上の研究費の増額をはかり、4年制大学にふさわしい教育・研究成果が出せるような土台作りを実施した。(20)</p> <p>・平成21年4月に就任した教職員については、研修会を実施し、設置の趣旨・目的等とカリキュラムについて説明し、その周知徹底をはかった。また平成21年度も前年度同様、当初計画より増額した研究費とし、4年制大学にふさわしい教育・研究成果が出せるようにした。(21)</p> <p>・平成22年度についても、前年同様、教職員に設置の趣旨・目的等とカリキュラムについて周知徹底をはかった。教育研究活動充実のための環境整備を引き続き行っている。(22)</p> <p>・平成23年度当初においても、教職員に設置の趣旨・目的および教育課程について周知徹底をはかった。</p> <p>・「教育方法論」の兼任講師を補充し、その教員を担当として教職課程申請を行い、教職課程の認定をもらった。(20)</p>	

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (20年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (21年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (22年5月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<医療保健学部>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成9年度（当時、桐生短期大学）に設置の「自己点検・自己評価委員会」に加えて、平成18年度には「桐生短期大学FD委員会」を設置し、大学教員の資質の向上を含めた大学教育全体の改善に資する活動を行ってきた。平成20年度の桐生大学開学にともない、桐生大学学則に基づき、従来の「FD委員会」の基本理念を受け継ぎながらも、それをさらに発展させた「桐生大学FD委員会」を発足させた。本委員会は、4年制大学にふさわしい教員としての教育力および研究力を発揮することができるような教育研究活動を実施するにあたっての条件づくりに寄与すること、さらにそれらの活動の点検・発展を目指すことを目的として設置されたものである。

（資料）「桐生大学FD委員会規程」参照

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成20年度は、自己点検・自己評価委員会の連携のもと、FD委員会をほぼ一月に1回、計11回開催した（短大部との合同委員会を含む）。FD委員である教員7名で、約90%の出席率であった。
 平成21年度は、7回開催した（短大部との合同委員会を含む）。FD委員は教員8名で、約91%の出席率であった。
 平成22年度は、7回開催した（短大部との合同委員会を含む）。FD委員は教員8名で、出席率は約95%であった。

c 委員会の審議事項等

平成20年度は、FD委員会を中心として、教員の教育力向上に資するため、FD活動を実施してきた。その主な審議内容は以下のとおりである。

- ・ 授業評価アンケートの企画・実施計画について。
- ・ 授業評価アンケート結果の集計について。
- ・ 当該教員への授業評価アンケートのフィードバックおよび結果に対する自己評価報告について。
- ・ 公開授業と実施後の教員並びにFD委員会委員による授業検討会の開催について。
- ・ 新任教員（教職歴3年未満）の研修会の内容について。
- ・ eラーニング教材の導入について。
- ・ 授業支援システムの活用について。
- ・ 系列校との連携推進・強化について。
- ・ FD報告書の作成について。
- ・ その他、実施内容の検討について。

平成21年度のFD委員会においては、前年度のFD活動を継続し、さらに発展させようとするものであった。その主な審議内容は以下のとおりである。

- ・ 授業アンケートの改訂（特に授業形態に応じたアンケートとなるような改訂を検討）
- ・ 授業アンケート結果の集計と総括
- ・ 学科ごとの公開授業の実施（実施後の総括含）
- ・ 学科ごとのFD研修会の開催
- ・ FD報告書の作成について。
- ・ その他、実施内容の検討について。

平成22年度のFD委員会においては、平成20・21年度のFD活動を基礎にし、さらに発展させようとするものであった。その主な審議内容は以下のとおりである。

- ・授業アンケートの実実施計画
- ・授業アンケート結果の集計
- ・アンケート結果の全体総括
- ・全授業を対象とした公開授業の実実施計画
- ・FD研修会の開催計画・実施(外部講師)
- ・FD報告書の作成について。
- ・その他、実施内容の検討について。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 新任教員のための研修会(平成20年1月20日、平成20年4月1日、平成21年4月1日実施、平成22年4月1日実施)
- ・ 授業評価アンケートの実施(前後期それぞれ中間評価および最終評価を実施)
※ 平成21年度から授業形態(講義・演習・実習・学外実習)別のアンケートを実施
- ・ 授業評価アンケートの公表(前後期それぞれ中間評価および最終評価を学内専用サイトに掲載)
- ・ 授業評価アンケートの学科別総括(平成22年度)
- ・ 新任教員(教職歴3年未満)の研修会の実施(平成20年度)
- ・ 学科ごとのFD研修会の実施(平成21年度)
※ 学科の理念、カリキュラムの基本方針、各授業との関係等について研修
- ・ 外部講師を招いたFD研修会(大学に関する基本法令及び教育方法について)の実施(平成22年度)
- ・ 公開授業および授業検討会(新任教員(教職歴3年未満)およびFD委員は原則として参加)の実施(平成20年度)
※ 平成20年度は全体で実施、平成21年度は学科ごとに実施
- ・ 2週間の設定期間中の全授業を対象とした教員相互間の授業参観の実施(平成22年度)
- ・ eラーニング教材・授業支援システム活用のための全体研修会の実施(平成20年度)
- ・ eラーニング教材・授業支援システム活用のための新任教職員研修の実施(平成21年度～)
- ・ 授業支援システムのWeb上への公開
- ・ 系列校との連携協議会の開催
- ・ 教育・研究・学習指導等活動報告書を全教員が作成・提出

b 実施方法

- ・ FD委員会を中心として、企画・運営を検討し、実施内容ごとに、教務課・情報センター・入試広報課等との連携のもとに、各学科のFD委員を中心に実施した。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・ 新任教員のための研修会には、対象となる教員全員が参加している。(1回目の研修会に欠席であった教員については、数日後に同内容の研修を実施している。)
- ・ 授業評価アンケートは、開講されたすべての教科目について、中間・最終評価とも実施した。それらすべての結果を学内専用サイトに掲載している。
- ・ 授業評価アンケート結果の学科ごとの全体像について、各学科FD委員が検討し、FD委員会で報告した。(平成22年度)
- ・ 教職歴3年未満の教員(助手含む)を対象とした研修会には、公務で欠席した教員以外はすべて出席した。公務で欠席した教員については、事後に個別に研修を実施した。(平成20年度)
- ・ 各学科において、大学の教育目的・目標、教育課程に関する研修会を実施した。、公務で欠席した教員以外はすべて出席した。公務で欠席した教員については、事後に個別に研修を実施した。(平成21年度)
- ・ 外部講師を招いたFD研修会を実施した。講師として、他の学園の現職理事で、大学を取り巻く環境に詳しい方を招聘した。内容は、大学に関する法令、審議会答申、大学を取り巻く環境の変化、教育方法に関する研究紹介等であった。公務で欠席した教員については、事後に当日配布した資料を利用して、各学科のFD委員が個別に研修を実施した。(平成22年度)
- ・ 授業評価結果を踏まえて、比較的評価の高かった教員の授業を参観する公開授業を実施した。原則として、教職歴3年未満の教員(助手含む)は全員参加とした。同時刻に担当授業があった教員以外は、すべて出席した。同一週に公開授業参観者による授業検討会を実施した。公務で欠席した教員以外はすべて出席した。公務で欠席した教員については、事後に検討会の結果を伝達した(平成20年度)。
- ・ 平成20年度は全体として1つの公開授業であったが、平成21年度は専門科目の中から、学科ごとに検討の上選択した授業について、公開授業を実施した。原則として、教職歴3年未満の教員(助手含む)は全員参加としたが、それ以外の教員も多数参加した。参加後、各自所感についてまとめ、FD委員会に提出することとした(平成21年度)。
- ・ 平成22年度は後期1～2月の2週間の期間を設定し、相互授業参観を実施した。初年度であったため、会議形式での検討は実施しなかったが、事後に意見交換がなされた。のべ約50人が参観した。(平成22年度)。
- ・ 情報センターの協力の下、eラーニング教材・授業支援システム活用のための研修会を実施した。全教員のほぼ90%が出席した。欠席者には、当日配付した資料を使って事後に説明した。

- ・ 情報センターにおいて、新任教員については、eラーニング教材・授業支援システム活用のための個別研修を実施している。具体的には、新入生に対する初年次教員への参加や個別の研修によって実施している。
- ・ 入試広報課を中心に系列校（桐生第一高校）との連携協議会を開催した。入試等についての情報交換の他に大学・高校それぞれの授業内容・カリキュラムについての情報交換を行った。
- ・ 平成20年度から、当該年度の教育・研究・学習指導等活動についての報告書を全教職員が作成・提出した。内容は、授業評価に対する自己評価、各年度の研究業績・社会的活動、学生への指導状況等について報告するものであった。業績評価のための委員会で精査することとなっている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 平成22年度までのFD活動を基礎として、さらにより効果的な研修が実施できるようさらに改善して実施する予定である。
- ・ 平成23年度については、具体的な授業改善につながるよう、相互授業参観のさらなる活用と教育方法についての研修を充実させていく予定である。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙資料のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成23年7月30日 公表予定(平成22年度報告)

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を作成・刊行し、大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成25年度に評価機関(日本高等教育評価機構:予定)の評価を受けるべく、学内で検討中。

(注)・設置認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (毎年 7 月 30 日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.kiryu-u.ac.jp/secchi>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。